

ミニバスに関わるすべての皆様へ
「指導者各位・保護者各位・プレーヤー」

一般財団法人 北海道バスケットボール協会
専務理事 森野和泰

《一人でも多くの子どもがバスケットできる環境を存続、無くさないでください》

令和元年を迎え、各地区、ブロックにおかれて、各種競技会が開催される時期となり、大変忙しくされていることと存じます。

さて、ご存知の通り（公財）日本バスケットボール協会よりミニバス競技ルールおよびチーム構成に関わる競技者移籍、登録等に関する大きな変更が既に通知されております。チームの構成・移籍に関する詳細は、関係者の皆様方に「U-12 カテゴリー移籍手続きガイドおよび運用細則等」等により、周知されているかと存じます。これらの改革の指針は日本バスケットボール界の普及と発展に欠かせない「U-12 世代競技者の良い競技環境」を作ることを重視した施策であります。従前より皆様方におかれましては、アンダーカテゴリーに求められている「競技者の発掘・育成」、そして何より「子供たちが楽しく！」を理念に活動されていることと思います。この改革示す本来の意義を理解され、バスケット界の普及・発展に一層のご協力をお願い申し上げます。

【プレーヤー、そして皆さんへ】

● ミニバスは楽しいですか？

- ・子どもたちの笑顔≠勝利、みんなと楽しく「一所懸命」⇒ チーム競技＝人生の先行体験
 - ・ボールを追いかける、ゴールを決める、出来ないことにチャレンジすることの喜びと体験
 - ・一生懸命に練習するから、出来たとき⇒「子供の笑顔！」・「感動」
 - ・試合での勝利はその延長です。練習試合も大会も子どもたちにとってはどれも同じです。
 - ・スポーツをする真の目的⇒ 人間形成「みんなと仲良く・助け合いの気持ち」
 - ・優勝「目標」≠勝利至上主義⇒ スポーツ活動本来の「目的」をもって活動する
 - ・この度の改革⇒ チーム構成・移籍の通知は、子どもの人権確保が最大の目的である！
 - ・チームが地域から消滅（再編は大変厳しい）⇒ 近隣の子供が遠くのチームに入団「特に低学年は通うことが出来ない！」⇒ バスケを始めるきっかけの喪失＝競技人口の減少
 - ・ミニバスがここまで発展してきたのは、「近くにチームがある」が大きな力です
 - ・指導者のみなさんボランティアの概念、存在の意義を確立し自己研鑽を積み、「子どもたちの笑顔」のために保護者と協力し、ミニバスプレーヤーの発掘と育成をお願いします。
 - ・限りない可能性を持つ子供たちがバスケットを始めるきっかけを失うことの無いよう、チームを地域の財産として残すよう努力してください。
 - ・「ミニバスは楽しい！」・「やっててよかった！」そんな子供を一人でも増やすのが我々の目標
- 「※参考： 本道におけるチーム登録・競技者登録の推移」

	1999年		2018年	
	HBA全体	ミニバス	HBA全体	U-12
チーム登録数	2,060	428	1,790	409
競技者登録数	42,197	7,994	30,608	6,981